

平成29年度 シラバス 美術 I

単位数	2単位	学年	1学年
学科・学年・コース・組	3学期制 普通科 1年		
使用教科書	高校生の美術1 (日本文教)		

芸術科
美術 I

1. ねらい・目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2. 授業の進め方や学習方法

毎單元ごとに、目標やねらい、取り組み方法等の説明をします。与えられた課題を、自己の表現で試行錯誤しながら、計画的に取り組んでいきます。作品発表の場やグループ活動の場を設け、他者の作品理解やコミュニケーションを図ります。また、わからないことや悩んでいること等は机間巡視で、質問しやすい環境を作り、問題解決のためのアドバイスをします。提出期限には全員が仕上げられるよう指導していきます。

3. 副教材・参考書

- | | |
|-----------|----|
| 1. 1. 副教材 | なし |
| 2. 2. 参考書 | なし |

4. 評価

(下記の4つの観点から評価した各学期の成績を統合し、年間の学習成績とします。)

○関心・意欲・態度

美術表現・鑑賞に関心を持っているか。

表現意欲があり、主体的に制作に取り組む態度を持っているか。

○表現の工夫

表現のために材料の選択や技法の用い方を工夫しているか。

自然や物事の見方、またテーマの把握に対して芸術的感受性を働かせているか。

○表現の技能

作品を造り出すために必要な材料の扱い方や、表現方法を身に付けているか。

○鑑賞の能力

美術作品を感受し、理解しようとしているか。

美術作品について、特徴や自分の考えを述べることができるか。

5. その他(履修上の留意点等)

美術は、表現することから始まります。まず、表現意欲を持つことです。次に、造る喜びを味わい楽しむ。そして、他者作品への理解と尊重。これらの態度を持つことが大切になります。また、美術に限らず様々な分野の「表現されたもの」に関心を持つことです。そうして、創造に関わることで発想力や情操を育てていきたいと思います。

6. 授業計画（進度表）

学期	月	時	単 元	学 習 内 容	留 意 点 等
1 学 期	4	2	オリエンテーション 教科書鑑賞会	・美術の学習について。 ・教科書を鑑賞し、発表し 合い、互いの考えを共有 する。	・美術の授業の約束事 を確認する。 ・ワークシートをもと に発表を進める。
	5 6	12	○デザイン 色彩論 (3原色・色相環)	・色彩、構成、材料や用具 の生かし方等の技能修 得。	・基本的なものの見方 や表現法を学び、絵具 の特徴と使用法を学 ぶ。
	7	12	○デザイン/鑑賞 ロゴマーク (16歳の自分を表現)	・自らを表現する物や事 をもちいて、自分の名 前をロゴマークとして デザインする。	・制作にあたり必要な 材料の扱い方や、表現方 法を身に付ける。
2 学 期	9 10	16	○立体/鑑賞 (マイキャラクター)	・様々な立体作品鑑賞か ら、制作過程に関心を 持ち、表現の工夫や独 自性を考える。 ・表現方法を模索させ、自 分自身を表す立体キャ ラクターを制作させ る。	・素材の特性と表現の 工夫を感じ取り、作者 の制作意図を考える。 ・表現の可能性を探り、 材料（紙粘土等）に触 れ表現の幅を増やし、 作品制作にいかす。
	11 12	15	○版画表現/鑑賞 (四方連続構成による 染色表現)	・日本の美術に興味を持 たせ、意欲的に鑑賞さ せる。 ・版画の種類についても 理解する。 ・版画の良さや特徴をい かした作品を制作。	・作家や作品、社会との 関係を歴史的に押さ える。 ・版の特徴を生かした 表現をするために、版 画の種類や技法等を 十分に理解し、意図に 応じ工夫する。
3 学 期	1 2	10	○アニメーション (パラパラ漫画)	・アニメーションの基礎 を理解する。撮影方法 や動きを工夫し制作。	・映像メディア表現を 通して、美術の可能性 を感じさせる。
	3	3	○鑑賞 ・1年間の反省	・授業をふりかえる	・次年度への課題を考 える。